

# 第62回 神戸市障害者スポーツ大会実施要綱



主 催

神 戸 市  
(社福)神戸市社会福祉協議会  
障害者スポーツ振興センター  
(社福)神戸市身体障害者団体連合会  
(一社)神戸市手をつなぐ育成会  
神戸市身体障害者施設連盟  
神戸市知的障害者施設連盟  
(特非)神戸市精神障がい者家族会連合会  
神戸市精神障害者社会復帰施設連盟

# 第62回 神戸市障害者スポーツ大会実施要綱

## 1. 目的

障害者がスポーツを通じて体力の維持増強、機能回復、残存能力の向上を図り、明朗快活で、積極的な性格と協調精神を養うとともに、社会の障害者に対する正しい認識の向上と社会参加の促進を図ることを目的とする。

## 2. 後援

神戸市教育委員会、(公財)神戸市スポーツ協会、(公財)神戸新聞厚生事業団

## 3. 主管

神戸市卓球協会、神戸市陸上競技協会、  
神戸市水泳協会、兵庫障害者フライングディスク協会、  
兵庫県ボッチャ協会

## 4. 協力

ボーイスカウト神戸市連絡会、ガールスカウト神戸地区協議会、  
神戸市消防音楽隊

## 5. 開催日時・会場

競技名	開催日時	会場	備考	頁
卓球	令和5年4月16日(日) 10時00分～(選手集合 9時00分)	中央体育館	<p>&lt;雨天決行&gt;</p> <p>・ラジオ関西で当日午前7時の時報前頃に実施か中止の放送をします。</p> <p>・障害者スポーツ振興センターホームページにも実施か中止の掲載をします。</p> <p><a href="http://www.kobesad.jp/">http://www.kobesad.jp/</a></p> 	4
ボッチャ (肢体不自由者)	令和5年4月30日(日) 10時30分～(選手集合10時00分)	王子スポーツセンター		5
フライング ディスク	令和5年5月21日(日) 10時00分～(選手集合 9時30分)	王子スタジアム		6
水泳	令和5年5月28日(日) 9時30分～(選手集合 9時00分)	市民福祉スポーツセンター プール		7・8
陸上競技	令和5年6月4日(日) 9時15分～(選手集合 8時30分)	ユニバー記念競技場		9・10

## 6. 参加資格

- (1) 神戸市内に居住または勤務し、身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者保健福祉手帳、自立支援医療(精神通院)受給者証を所持する中学1年生以上の者。
- (2) 市内の特別支援学校または特別支援学級に在籍中の中学1年生以上の者。
- (3) 市内の障害者施設に在籍中で中学1年生以上の者。

## 7. 申し込み

- (1) 申込方法 ※以下のいずれかの方法でお申込ください。

- ① 申込書での申込

- ・申込用紙:(社福)神戸市社会福祉協議会 障害者スポーツ振興センター、各区保健福祉課、市身体障害者団体連合会事務局および市手をつなぐ育成会事務局にあります。
- ・申込先:下記 神戸市社会福祉協議会 障害者スポーツ振興センターもしくは各区保健福祉課まで

- ② インターネット申込

- ・障害者スポーツ振興センターホームページ(<http://www.kobesad.jp/>)へアクセス。申込専用ページで必要項目を入力し、申込内容を確認後、送信ボタンを押して申込完了メールが届いたら申込完了。



- (2) 申込期限

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| ●卓球            | 令和 5年 3月30日 (木) |
| ●ボッチャ (肢体不自由者) | 令和 5年 4月 6日 (木) |
| ●フライングディスク     | 令和 5年 4月20日 (木) |
| ●水泳            | 令和 5年 5月11日 (木) |
| ●陸上競技          | 令和 5年 4月27日 (木) |

【障害者スポーツ振興センター・各区保健福祉課への提出期限です】  
※ 提出期限は厳守して下さい。

- (3) 問い合わせ先

〒651-0086 神戸市中央区磯上通3丁目1番32号 こうべ市民福祉交流センター4F  
(社福)神戸市社会福祉協議会 障害者スポーツ振興センター  
TEL (078) 271-5330 FAX (078) 271-5367  
Mail:office@kobesad.jp

## 8. 表彰

- (1) 入賞者の範囲は、組ごとに1位から3位までとし、メダルを贈る。
- (2) 順位決定戦を行わず、3位まで表彰する。
- (3) フライングディスクについては、1位が複数の場合、1位決定戦を行う。

## 9.その他

- (1) 出場者の少ない種目については、類似した障害条件の者が一緒に競技をすることがある。
- (2) いかなる理由があっても、参加申込者以外の出場および代理出場は認めない。
- (3) 申込者は、事前に本人の責任において医師の診断を受け、不測の事態に備えること。
- (4) **医師の判断により競技参加が不適当と認められたときは、出場を断ることがある。**
  - ※ 大会当日の傷害、疾病、事故等については、応急手当以外は主催者において一切の責任を負わないので、健康と安全については各自十分注意すること。
- (5) 本大会の成績は、2023 燃ゆる感動かごしま大会 一特別全国障害者スポーツ大会一(10月28日～30日)への選手選考の参考資料とする。(神戸市内在住者、または在校生に限る)
  - ※ フライングディスクの選手選考については、アキュラシー・ディスタンス両種目に出場した選手の記録を参考資料とする。
- (6) 各大会参加にあたり、会場に来られる方全員(選手及び付添者)に体調チェックシートの提出をお願いいたします。(別紙)
  - ※ 新型コロナウイルスの感染拡大により、中止にする場合があります。

### 全国障害者スポーツ大会で実施される競技(14競技)

- ・**個人競技** 陸上競技(身・知)、水泳(身・知)、アーチェリー(身)、卓球(身・知・精神)  
フライングディスク(身・知)、ボウリング(知)  
個人競技においては、年齢を以下の各部に分けて競技が実施される。
  - ・身体障害者:1部(13歳～39歳)、2部(40歳以上)
  - ・知的障害者:少年(13歳～19歳)、青年(20歳～35歳)、壮年(36歳以上)
- ・**団体競技** : 男女バスケットボール(知)、車いすバスケットボール(身)、ソフトボール(知)、  
グランドソフトボール(視)、男女バレーボール(身・知・精神)、サッカー(知)、  
フットベースボール(知)、ボッチャ(身)

### ※ 個人情報の取り扱いについて

1. 申込者の個人情報については、当大会を安全かつ円滑に開催することを目的に使用するものであり、プログラム・記録集・ホームページには、ゼッケン番号・名前・性別・障害種別(身体/知的/精神)・障害区分番号・部・記録(順位)を掲載します。
  2. 当大会および全国障害者スポーツ大会に出場する選手本人の名前・写真・映像が、神戸市社会福祉協議会ホームページ、神戸市障害者スポーツ振興センターだより、ホームページ神戸市が資料提供する記事、テレビ・新聞などマスコミの報道等に掲載されることがあります。
- ※ これらの点についてあらかじめご了承の上、お申し込みください。

# 卓 球

## 1. 競技区分

区分番号	障害区分
1	片上肢障害
2	片下肢障害
3	片上下肢障害
4	両上肢障害
5	両下肢障害
6	体幹障害
7	視覚障害

区分番号	障害区分
8	聴覚・言語障害
9	車いす常用者
10	*1 障害区分なし
11	*2 サウンドテーブルテニスA
12	*3 サウンドテーブルテニスB

区分番号	障害区分
13	知的障害者少年の部
14	知的障害者青年の部
15	知的障害者壮年の部
16	精神障害者の部

(注) ・身体 1部=39歳以下 2部=40歳以上  
 ・知的 少年の部=(13歳~19歳) 青年の部=(20歳~35歳) 壮年の部=(36歳以上)  
 ・精神 1部=35歳以下 2部=36歳以上

- ※1 障害区分に関係なく、出場できる。  
ただし、他の障害区分で出場する場合は、出場できない。
- ※2 アイマスクまたはアイシェードを着用する。
- ※3 アイマスクを着用しない。

## 2. 競技方法

- (1) 競技規則は、日本卓球ルールおよび全国障害者スポーツ大会競技規則を適用する。
- (2) 使用球は、日本卓球協会公認球とする。(白色40mmプラスチックボールを使用する)
- (3) 競技は男女別、区分番号別に行い、トーナメント方式とする。ただし、出場者数によりリーグ戦方式を行う場合がある。また、出場者が1名の場合には、他の区分の競技者で行う場合がある。
- (4) 1ゲーム11点先取の5ゲームマッチとする。ただし、知的障害者の部および精神障害者の部については、1ゲーム11点先取の3ゲームマッチとする。(サービスは2本交替で行う)  
また、サウンドテーブルテニスについては、1ゲーム11点先取の3ゲームマッチとする。  
(サービスは2本交替で行う)
- (5) 知的障害者の部および精神障害者の部については、各組の優勝者による決勝トーナメントを行う。
- (6) 体育館内では、必ず上履きの運動靴を使用する。(土足厳禁)
- (7) ラケットは各自で用意する。
- (8) 服装は何色であってもよい。
- (9) サウンドテーブルテニスA部の出場選手は、各自で用意したアイマスクまたはアイシェードを着用すること。
- (10) 出場者は、集合時間を厳守し、必ず受付で名簿のチェックを受けること。
- (11) 出場者は、主催者から配布されたゼッケンを着用して競技をする。  
「ゼッケンの色は、肢体障害者を白色、視覚障害者を黄色、聴覚・言語障害者を青色、内部障害者を桃色、知的障害者を緑色、精神障害者をオレンジ色とする。」

## 3. その他

- (1) 出場は1人1種目とする。
- (2) 選手の応援等については、観覧席から行う。

# ポッチャ

## 1. 競技区分(肢体不自由者)

			区分 番号	障害区分	競技スタイル	
					立位	座位
肢体 不自由	I	切断・機能障害	1	多肢切断・両下肢完全で立位	○	
	II	脳原性麻痺以外で車いす常用、使用	2	第6頸髄まで残存		○
			3	第7頸髄まで残存		○
			4	第8頸髄まで残存		○
			5	多肢切断		○
	III	脳原性麻痺(脳性麻痺・脳血管疾患・脳外傷等)	6	四肢麻痺で車いす常用		○
			7	けって移動		○
			8	片上下肢で車いす常用または使用		○
			9	その他走不能	○	
	IV		10	電動車いす常用		○

## 2. 競技方法

- (1) 立位・座位に分かれ、1対1の個人戦で2エンド行う。
- (2) 1エンドずつ得点を積み上げていき、2エンドの総得点で勝敗を決める。
- (3) 2エンド終了時に同点の場合は、タイブレイクで勝敗を決める。
- (4) その他競技役員の指示に従うこと。

## 3. 用具

- (1) ボールは、赤色ボール6個、青色ボール6個、白色の目標球1個で構成する。  
ボールの表面は、革製(人工皮革を含む)で大きさは、以下のとおりとする。  
重量 275g±12g 周長 270mm±8mm
- (2) 投球補助具(ランプ)は、原則選手が準備したものをを使う。

## 4. その他

- (1) 座位とは、車いす及び椅子に座った競技スタイルをいう。
- (2) 座位で競技する選手(区分2～8及び10)で移動したり、方向をかえたりすることが機能的に困難なもの及びランプ利用者について選手1名につき1名の競技アシスタントを認める。
- (3) 立位で競技する選手については、安全上の理由から、投球時以外は椅子を準備し、座位にて待機してもよい。

# フライングディスク

## 1. 競技区分

立位	アキュラシー (デイスリート・ファイブ)	身体障害者・知的障害者・精神障害者
	ディスタンス	身体障害者・知的障害者・精神障害者

座位	アキュラシー (デイスリート・ファイブ)	身体障害者・知的障害者・精神障害者
	ディスタンス	身体障害者・知的障害者・精神障害者

- (1) 競技方法は、全国障害者スポーツ大会競技規則および本大会競技規則を適用する。
- (2) 競技用具の持ち込みは認めない。主催者が用意したものを使用する。
- (3) 視覚障害者・車いす使用者については、できる限り立位のスローイングラインおよびアシストライン(現行競技規則)を使用する。
- (4) 競技は組別に行う。立位・座位を区別し、10名以内の組分けで行う。
- (5) サイトは、必ずしも追い風に設置できない場合もある。
- (6) アキュラシーは、デイスリート・ファイブのみとする。
- (7) ディスタンスの有効記録範囲は、原則として芝生フィールド内とする。
- (8) 出場者は、主催者から配布されたゼッケンを着用して競技をする。  
「ゼッケンの色は、肢体障害者を白色、視覚障害者を黄色、聴覚・言語障害者を青色、内部障害者を桃色、知的障害者を緑色、精神障害者をオレンジ色とする。」
- (9) 出場は、1人2種目まで(アキュラシーとディスタンス)を選択することができる。
- (10) その他、競技役員の指示に従うこと。

# 陸上競技

※障害区分等については全国障害者スポーツ大会と同じ

◎=男女・1部・2部とも出場できる。(1部=39歳以下、2部=40歳以上)

## 1. 身体障害者の部

障害区分番号・障害名		種目		五	一	二	八	一	走	立	走	砲	ソフ	ジャ	ビー			
				0	0	0	0	0	高	幅	幅	丸	トポ	ベリ	ンバ			
				m	m	m	m	m	跳	跳	跳	投	ール	ック	ック			
													投	スロ	投			
肢体不自由	1	上肢	1	手部切断、片前腕切断、片上肢不完全、片上腕切断、片上肢完全	◎	◎				◎	◎	◎	◎	◎	◎			
			2	両前腕切断、片前腕・片上肢切断、両上肢不完全	◎	◎			◎	◎	◎							
			3	両上腕切断、両上肢完全	◎	◎				◎	◎	◎						
		下肢	4	片下腿切断、片下肢不完全	◎	◎					◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
			5	片大腿切断、片下肢完全	◎	◎					◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
			6	両下腿切断	◎	◎					◎		◎	◎	◎	◎	◎	
			7	片下腿・片大腿切断、両下肢不完全	◎						◎		◎	◎	◎	◎	◎	
			8	両大腿切断、両下肢完全									◎	◎	◎	◎	◎	
		体幹	9	体幹 ※1	◎	◎					◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	2	車いす 原性 す常 用痺 、以 外で	10	第6頸髄まで残存	◎	◎											◎	
			11	第7頸髄まで残存		◎	◎	◎	◎									◎
			12	第8頸髄まで残存										◎	◎	◎		
			13	下肢麻痺で座位バランスなし		◎	◎	◎						◎	◎	◎		
			14	下肢麻痺で座位バランスあり		◎	◎	◎	◎					◎	◎	◎		
			15	その他車いす		◎	◎	◎						◎	◎	◎		
	3	(脳 原性 麻痺 、痺 外、 脳等 血管)	16	四肢麻痺で車いす使用	◎												◎	
			17	けって移動	◎												◎	
			18	片上下肢で車いす使用	◎												◎	
			19	上肢で車いす使用	◎	◎	◎	◎	◎					◎	◎	◎		
			20	その他走不能										◎	◎	◎		
			21	上肢に不随意運動を伴う走可能	◎	◎	◎		◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
			22	その他走可能	◎	◎	◎		◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	4	23	電動車いす常用													◎		
視覚障害 ※2	24	視力0から0.01まで ※3	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
	25	その他の視覚障害	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
聴覚・平衡機能障害、 音声、言語、 そしやく機能障害	26	聴覚障害	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
内部障害	27	ぼうこうまたは直腸機能障害	◎						◎	◎	◎		◎	◎				

※1 体幹とは、頸部・胸部・腹部および腰部(脊柱)のみに変形がある者(脊椎カリエス等による体幹の障害が該当する)ただし、四肢の機能障害を伴う場合は、体幹の機能障害があってもこの区分には該当しない。

※2 視力は「矯正後の良い方の視力」で判定する。

※3 障害区分24は光を通さないアイマスクまたはアイシェードを装着する。

## 2. 知的障害の部

区分番号	区分名	種目		五	一	二	四	八	一	走	立	走	ソフ	ジャ	四	
		五	一	0	0	0	0	0	0	0	高	幅	幅	トポ	ベリ	一
				m	m	m	m	m	m	跳	跳	跳	ール	ック	〇〇	
													投	スロ	リ	
知的	28	知的障害	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△

## 3. 精神障害の部

区分番号	区分名	種目		五	一	立	走	ソフ
		五	一	幅	幅	トポ		
				m	m	跳	跳	ール
								投
精神	29	精神障害	◎	◎	◎	◎	◎	◎

[知的障害]

△=男女混合・年齢区分なし

◎=男女・少年の部・青年の部・壮年の部とも出場できる。

・少年の部(13歳～19歳)

・青年の部(20歳～35歳)

・壮年の部(36歳以上)

[精神障害]

◎=男女・1部・2部とも出場できる。

(1部=35歳以下、2部=36歳以上)



## 1. 競技用具

- (1) 個人的使用にかかるもの意外の競技用具は、主催者が用意したものを使用する。
- (2) 砲丸の重量は、次のとおりとする。

障 害 区 分		男 子		女 子	
		1 部	2 部	1 部	2 部
肢 1	1	4	2.721	2.721	2.721
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
肢 2	9	2.721	2.721	2.721	2.721
	12				
	13				
	14				
肢 3	15	2.721	2.721	2.721	2.721
	19				
	20				
	21				
視	22	4	2.721	2.721	2.721
	24				
聴	25	4	2.721	2.721	2.721
	26				

## 2. 競技方法

- (1) 競技規則は、日本陸上競技連盟競技規則および全国障害者スポーツ大会競技規則を適用する。
- (2) 競技は組別に行う。走技は各組で行う。跳技・投技は10名以内で編成する。
- (3) スタートコールは「イングリッシュコール」で行う。400mまで(4×100mリレーを含む)の競走においては、「位置について」を「On your marks (オン/ユア/マークス)」、「用意」を「Set (セット)」の言葉で行う。800m以上の競走においては、「位置について」を「On your marks (オン/ユア/マークス)」の言葉で行う。
- (4) 不正スタート(フライング)は1回目で失格とする。
- (5) 50m競走のスタート方法は、スタンディングスタートのみとする。スターティング・ブロックは使用できない。
- (6) 跳技・投技群の試技回数は3回とし、投技は運営上、連投もある。
- (7) 走高跳のバーの上げ方  
(女子 95cmより開始、5cmきざみで上げる) (男子 1m00より開始、5cmきざみで上げる)
- (8) 区分24・25(視覚障害)走り幅跳びの踏切板の長さは1mとする。
- (9) 区分24の出場者は、各自が光を通さないアイマスクまたはアイシェードを持参し装着すること。また、招集所において、持参したアイマスク等から光が漏れないか競技役員が確認し、合格した物を装着すること。
- (10) 区分25(視覚障害)の出場者は、50・100・200・800・1500m競走において、伴走者をつけることができる。ただし、伴走用の紐は非伸縮で50cm以内のものを使用すること。また、スタートからゴールまでは紐を離さないこと。
- (11) 50m競走で使用する車いすは日常生活用車いすとする。ただし、100m競走では競技用車いす(レーサー)を使用してもよい。
- (12) 車いすで100・800・1500m競走の出場者は、ヘルメットを着用する。
- (13) 車いすで800・1500m競走の出場者は、日常生活用車いすを使用してもよい。ただし、全国大会に出場する場合は競技用車いす(レーサー)を使用すること。
- (14) 競技に際しては、常用の補装具をできるだけ使用する。
- (15) 服装は自由であるが、なるべく運動しやすいものを着用する。スパイクの使用は差支えないが使用する場合は、9mm以下のピンとする。
- (16) 出場者は、主催者から配布されたゼッケンを着用して競技をする。事前説明会に出席した各施設、養護(特別支援)学校は、事前説明会当日に配布する。それ以外の出場者には試合当日に配布する。なお、ゼッケンの色は肢体障害者を白色、視覚障害者を黄色、聴覚・言語障害者を青色、内部障害者を桃色、知的障害者を緑色、精神障害者をオレンジ色とする。
- (17) 棄権者については、各施設(学校)ごと、「棄権用紙」にまとめて記入して提出すること。

## 3. 知的障害者の部 4×100mリレーについて

- (1) 出場チームは各施設2チーム以内とする。
- (2) チームのメンバーは男女混合4名で編成し、補欠も含め6名までエントリーできる。
- (3) 当日、競技開始1時間前までにリレーオーダー用紙を大会本部へ提出する。なお、競技開始30分前までに、選手が集合しないチームは棄権とみなす。
- (4) リレー出場者は、出場種目に制限なく出場できる。
- (5) 出場チームが8チーム以上の場合は、組分けを行いタイムレースにより順位を決定する。
- (6) タイムレースの結果、上位3チームには楯を授与する。また、各組ごと1位～3位チームの選手にはメダルを授与する。

## 4. その他

- (1) 身体障害者の部参加者については、1人2種目まで、知的障害者及び精神障害者の部の参加者については1人1種目とする。ただし、知的障害の部のリレーは除く。

# 水 泳

## 1. 競技種目および障害適用表

※障害区分等については全国障害者スポーツ大会と同じ。

※個人メドレーは、全国障害者スポーツ大会の種目にありません。神戸市大会のみです。

◎＝男女・1部・2部とも 出場できる。

### 1. 身体障害者の部

(1部＝39歳以下、2部＝40歳以上)

障害区分番号・障害名		種 目	自由形			平泳ぎ		背泳ぎ		バタフライ		個人メドレー
			25	50	100	25	50	25	50	25	50	100
肢体不自由	上肢	1	手部切断(片手・両手の切断)		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		2	片前腕切断、片上肢不完全		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		3	片上腕切断、片上肢完全		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		4	両前腕切断、両上肢不完全		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		5	両上腕切断、両上肢完全 片前腕・片上腕切断		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	下肢	6	片下腿切断、片下肢不完全		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		7	片大腿切断、片下肢完全		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		8	両下腿切断、両下肢不完全		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		9	両大腿切断、両下肢完全 片下腿・片大腿切断		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	上下肢	10	片上肢切断・片下肢切断 片上肢不完全・片下肢不完全		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		11	多肢切断、片上肢完全・片下肢完全 両上肢不完全・両下肢不完全		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	車いす常用麻痺以外で	体幹	12	体幹		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
13			第7頸髄まで残存		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
14			第8頸髄まで残存		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
15			下肢麻痺で座位バランスなし		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
疾患(脳性麻痺、脳外傷等)	脳原性麻痺	16	下肢麻痺で座位バランスあり		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		17	四肢麻痺(車いす常用) 上肢に著しい不随意運動を伴う走不能		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		18	両下肢麻痺 上肢に軽度の不随意運動を伴う走不能		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		19	片側障害で片上肢機能全廃		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		20	その他の片側障害で走不能		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
視覚障害 ※1	内部障害	21	その他		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		22	浮具使用		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
聴覚・平衡機能障害、音声、言語、そしゃく機能障害	内部障害	23	視力0から0.01まで ※2		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		24	その他の視覚障害		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
内部障害	内部障害	25	聴覚障害		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		26	内部疾患		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	

※1 視力は「矯正後の良い方の視力」で判定する。

※2 障害区分23は光を通さないゴーグルを装着する。

## 2. 知的障害者の部

種 目 障害区分(年齢区分)			自由形			平泳ぎ		背泳ぎ		バタフライ		個人メドレー
			25	50	100	25	50	25	50	25	50	100
知的	27	知的障害 (少年=13~19歳)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
知的	28	知的障害 (青年=20~35歳)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
知的	29	知的障害 (壮年=36歳以上)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

## 3. 精神障害者の部

種 目 障害区分(年齢区分)			自由形			平泳ぎ		背泳ぎ		バタフライ		個人メドレー
			25	50	100	25	50	25	50	25	50	100
精神	30	精神障害 (1部=35歳以下)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
精神	31	精神障害 (2部=36歳以上)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

## 2. 競技方法

- (1) 競技規則は日本水泳連盟競技規則および全国障害者スポーツ大会競技規則を適用する。
- (2) スタートはコールは「イングリッシュコール」でおこなう。
- (3) 両下肢機能障害・全盲者、知的障害者および精神障害者はプール内からスタートする。  
ただし、知的障害者でスタート台からスタートを希望する者は、許可する。
- (4) 障害区分23は光を通さないゴーグルを装着する。

## 3. その他

- (1) 水着および水泳帽は各自で持参する。
- (2) 出場は、1人2種目までとする。
- (3) 今大会は、フリーリレーは実施しない。

# 各種競技会場案内図

## 卓球



- ・市営地下鉄大倉山駅より徒歩3分
- ・JR神戸駅より徒歩10分
- ・高速神戸駅より徒歩5分

### 神戸市立中央体育館

神戸市中央区楠町4丁目1-1  
TEL 341-7971  
FAX 341-7974

## ポッチャ／フライングディスク



- ・阪急神戸線「王子公園駅」北へ
- ・JR神戸線「灘駅」北へ徒歩10分から15分
- ・三宮から2系統(野崎通り3丁目バス停)
- ・三宮から90、92系統(王子公園前バス停)

### 体育館(ポッチャ)

神戸市灘区青谷町1丁目1-1  
TEL 802-0223

### 王子スタジアム(フライングディスク)

神戸市灘区王子町2丁目1  
TEL 861-5627

## 水泳



- ・三宮駅(JR、地下鉄、阪急、阪神)より徒歩15分
- 路線バス番号 7番 市民福祉交流センター前

### 市民福祉スポーツセンタープール

神戸市中央区磯上通3丁目1-32  
こうべ市民福祉交流センター10階プール  
TEL 271-5332  
FAX 271-5373

## 陸上



- ・三宮から自動車で山麓バイパス経由25分
- ・地下鉄「総合運動公園」駅下車東へ5分

### ユニバー記念競技場・補助競技場

神戸市須磨区緑台  
TEL 793-6150  
FAX 793-6159